



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
コーヒ・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
みふみ会 : 水曜日 10am
定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
早天祈禱会 : 土曜日 7am
家庭集会 : 各地区に2箇所
牧師 : 杉村 幸 (日語部)
 益田デーロ (英語部)
電話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
E-Mail : sugimura1950@gmail.com
教会ホームページ : www.occc.org
教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫 ■ 「鐘を鳴らすのは誰」①
『だれが鐘をならしたか』はレイモンド・マクドナルド・オーデン作であり、インターネットにあったものである。まさに美しく心に響く鐘のようである。
昔、ある遠い国の都の丘に立派な教会がたっていました。その教会の高い塔のてっぺんに、クリスマススのチャイムをならす鐘があります。でも、何年もの間、この鐘の音を聞いたものはいませんでした。クリスマス・イブに教会に集まる人たちは、思い思いに、赤ちゃんのイエス様に誕生日の贈り物をする慣わしでした。そのとき、一番値打ちのある贈り物が祭壇におかれたときに、その鐘がなりだすと伝えられていました。「天使がならす鐘」だとも「風が鐘をゆすぶるんだ」とも言われましたが、鐘がならなくなつてから長い年月がたっていました。毎年、クリスマス・イブがくると、お金持ちの人は、競つて、立派な品物を祭壇に置きました。けれども、だれもかも、他の人より上等な贈り物をしよう、とだけ考えて、本心に心のこもつた贈り物しようなどとは思いませんでした。贈り物を置いた人は、自分こそ、鐘をならすことができるだろうかと思ふと耳をすましましたが、聞こえるのは、塔の上の風がうなる音だけでした。
その教会から遠く離れた村に、ペドロという男の子が弟とふたりで暮らしていました。ペドロと弟は、教会の鐘のことは知りませんでした。クリスマス・イブには、礼拝や楽しそうなお祝いがあると聞いて行つてみることにしました。クリスマス・イブは、雪が降り地面が凍る、ひどく寒い日となりました。ふたりは、屋敷に家を出て、凍つた道を手をつないで歩きつづけ、日が暮れる前に、都の城壁のところまでつきました。そのとき、道端にみすぼらしい女の人が倒れているのを見つけた。長い旅の疲れと寒さで、雪の上に倒れてしまつたようです。ペドロは、女の人をゆりおこそうとしましたが、女の方は目をさましません。ペドロは決心し、弟に言いました。「兄ちゃん、この人を助けてあげなくちゃいけない。教会には、おまえひとりで行つておくれ」「ほく、ひとりで？ 兄ちゃんはクリスマスのお祝いに行かないの？」「ああ」とペドロは泣き出しそうになるのを我慢して言いました。「このおばさんは、雪の中でねむつたらこゝろ死んでしまう。町の人は、みんな教会に行つて、ここを通りかかる人はいない。兄ちゃんは、このおばさんといっしょにいてお世話にしてあげるよ。礼拝が終わつたら、だれか、大人の人をつれて戻つておいで。兄ちゃん、」

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

